

令和6年度第1回あおもり未来ミーティング（中部第4区連合町会）会議概要

日 時：令和6年6月27日（木）17：59～19：22

場 所：青森市男女共同参画プラザ 5階 研修室

テーマ：青森市内のホテルのねぶた料金について ほか

参加者数：11名

市側出席者：市長、副市長、企画部長、経済部次長

■前回いただいたご意見への対応状況

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- ・ねぶたの家ワ・ラッセの昨年度の入場者数が35万人を超えて過去最高になったと報道があった。概ね外国人の増加が挙げられるということで、ワ・ラッセの経営状況について、過去最高になった昨年度の収支がどうなっているのかお聞きしたい。また、外国人観光客が増加しているようだが、外国人観光客対策についても知りたい。

⇒令和5年度の収支状況については、指定管理者である青森観光コンベンション協会によると、ねぶたミュージアムの入場料や駐車場利用料金などの収入が約2億6千万円、人件費や光熱水費、保守点検料などの支出額が約2億円、差し引きすると約6千万円の黒字になった。

次に、来館者へのサービスについて、外国人観光客への接遇対応は、館内の展示物や施設案内、パンフレット等に英語や中国語、韓国語等で表示するとともに、英語を話せるスタッフ3名を配置し、英語以外の言語についてもスマートフォンの音声翻訳アプリや自動翻訳機能を使用して対応している。また、今年度は新たに新紙幣にも対応したキャッシュレス機能つきの入場券売機をねぶた祭前に導入することとしている。

○テーマ以外に関するご意見等

- ・裏通りも含めた新町商店街の防犯カメラの設置状況はどうなっているのか。

⇒青森市は設置数が少ない。今年度から段階的に設置数を増やしていく。まず最初は、子どもたちが関わる小学校や公園の付近に優先的に設置していく予定である。

- ・青森市は良い街だが、冬に時間どおりに動くことができないことが一番の問題である。交通の一方通行等を整理して早く進める交通体系を作り、時間どおりにバスが来るようになれば、街に人が住むようになり、地価も上がっていくのではないか。

⇒冬のバスについては課題であると認識している。市営バスでは、冬になると冬ダイヤを編成して、遅れを若干見越しながらバスを運行している。

また、最近ではITを活用してバスロケーションシステムという、スマートフォン等でバスの運行状況を確認できるサービスも行っている。